

【資料3】

舟橋村地方創生プロジェクト総合推進会議の開催状況

◎ 「舟橋村創生プロジェクト総合推進会議設置要綱」及び組織構成は、別紙のとおり。当推進会議が、人口ビジョンや総合戦略を策定するとともに、各種の施策や事業に係る効果検証並びに事業間調整を行うこととなっている。

- ① H27.6.23 a.国及び舟橋村の地方創生の動き
b.「子育て共助のまちづくりモデル事業」の概要
c.「子育て共助のまちづくりモデル事業」の調整課題の整理
- ② H27.7.29 a.国の地方創生の動向と「子育て共助のまちづくりモデル事業」の検討内容
b.舟橋村総合戦略(素案)の検討
c.「子育て共助のまちづくりモデル事業」の目標
- ③ H27.10.28 a.「人口ビジョン(案)」及び「総合戦略(案)」の検討
b.(仮称)「子育て優良住宅等認定制度(案)」[金融機関等の役割]の提案→5年間の利子補給など
- ④ H28.4.5 会議委員の追加あり。
[通信事業者=NTT.A.T、学識=柴田地所、
スポーツ=常願川公園スポーツクラブ、オブザーバー=富山財務事務所、村議会地方創生特別委員会]
a.H27年度の取組の検証
ア 子育て環境事業・エイジレス世代(富山 YMCA)
イ コミュニティ空間事業・公園活用(金岡造園)
ウ 子育て支援住宅検討とフィジビリティスタディ(FS)調査(タカノ建設)
エ ICT活用による子育て共助事業(NTT 西日本)
オ 子育て優良住宅等認定制度(各金融機関)
b.「子育て共助のまちづくりマスタープラン(案)」の検討
c.H28年度事業計画

(H28.6.30) 「ICT活用による子育てコミュニティづくり」に係る連携協定
舟橋村、富山大学地域連携推進機構、西日本電信電話(株)富山支店、NTT.A.T

- ⑤ H28.9.21 a. PDCA サイクルに基づく総合戦略の評価について
 b. 子育て共助のまちづくりマスタープランの発表
 c. H28 年度事業計画
 [戦略①] 子育て賃貸支援住宅の事業計画策定
 [戦略②] 子育てにやさしいパークマネジメント
 [戦略③] ICT 活用による子育てコミュニティづくり社会実験
 [戦略④] 子育て支援リーダー・サポーターの育成
 [戦略⑤] ローカル企業の自立・自走化支援

(H29.1.20) 「公共空間の整備・利用による子育てコミュニティづくり」に係る
 連携協定

舟橋村、富山大学地域連携推進機構、富山県緑化造園土木協会、日本造園建設業協会、日本造園組合連合会

(H29.3.29) 地方創生シンポジウム「地方の壁を乗り越えろ」開催
 高志会館、参加者 200 名

- ⑥ H29.10.31 a. PDCA サイクルに基づく総合戦略の評価(H27,28 年度)
 b. 子育て賃貸住宅等整備事業 [デロイトトーマツ]
 ・ 募集要項の概要-事業者に要求する性能水準のコンセプト
 ・ 審査基準
 ・ マーケットサウンディング(第 2 回目)の実施予定
 c. 子育てコミュニティの担い手育成 [AsMama]
 d. ICT 活用による子育て共助コミュニティ醸成事業 [NTT.A.T]
 e. マネジメント組織のあり方 WG(造園業地域イノベーション塾) [日本能率協会総合研究所]

- ⑦ H30.8.9 (「目標、KPI の達成状況を pdf ファイルで掲載」)
 a. 総合戦略の数値目標、KPI 進捗状況の評価
 b. H29 年度主要プロジェクトの報告
 ・ ICT 子育てコミュニティの社会実験 [NTT.A.T]
 ・ 子育てコミュニティの担い手育成 [AsMama]
 ・ 子育て賃貸住宅等整備事業 [積水ハウス、造園 JV]
 [以上]

エリアマネジメント協議会の開催状況

- ◎保育、造園、住宅メーカーの3者が中心となり、「モデルエリア」(こども園、賃貸住宅、公園)を子育ての場としてのプラットフォームを創造する構想で結成した。舟橋村総合戦略では、CSV ビジネスの創出数1を目指す。運営主体は、(株) AsMama(受託者)
- ① H30.12.6 協議会の設立趣旨説明 「造園業の可能性～舟橋型パークマネジメント」
 - ② H31.1.30 各社の年間スケジュール策定の依頼、賃貸住宅入居促進イベントの各社提案依頼、各社の広報戦略策定依頼、共助リーダー研修受講のお願い(AsMama)
 - ③ H31.2.20 子育て支援賃貸住宅条例制定のコンセプト、入居者公募説明会の予定、ICT 開発状況報告
 - ④ H31.3.20 各社の2月実績報告、4月以降の園児募集+園むすびプロジェクトなど各社の役割と流れの説明
モデルエリアのブランディング戦略について各社の意見発表
 - ⑤ H31.4.2 賃貸住宅入居者募集に係る各社の取組み発表、村の入居者募集説明会、ICT アプリ登録促進依頼(AsMama)、共助コミュニティリーダー創出活動報告(AsMama)
 - ⑥ R1.5.17 賃貸住宅(住宅名称、家賃設定、共助基金、運営管理方法)、入居者募集に係る広報・イベント、コミュニティリーダー発掘育成シンポジウム(6/1)の予告
 - ⑦ R1.6.21 賃貸住宅募集要項(村)、入居者募集活動(各社)・ICT アプリ活用促進(AsMama)、コミュニティリーダー発掘育成シンポジウム(6/1)の報告
 - ⑧ R1.7.18 6,7月の活動実績報告(「園むすびプロジェクト」の賃貸住宅入居募集及びICT活用促進に対する寄与度は、高くない。)、第2回入居募集説明会の予定
 - ⑨ R1.8.22 8月9日の申込締め切りで5件は少ない。村営なのに家賃が高いイメージ。入居者募集PR活動委託(積和へ成功報酬)、入居者家賃補助(①小学生1人月額5,000円、限度額10,000円を2年間、②12月までの入居者に入居月の家賃、共益費及び駐車場代補助)
 - ⑩ R1.9.20 9月議会で上記の入居者家賃補助が議決あり。9/29の竣工式、説明内覧会等の説明。

R1.10.9 〈事務局が金岡造園とオンライン会議〉

- ① 園むすびプロジェクトは、金岡造園の赤字事業となっている。自社のオンコントロールになっておらず、自走する方策が見つからない。
- ② エリアマネジメント協議会の他 2 者が積極的参画しておらず、それを促進しない事務局にも不満がある。

R1.11.22 〈事務局が金岡造園と第 2 回オンライン会議〉

- ① 園むすびプロジェクトとは別に、自立自走するコミュニティを創っていく。
- ② 現在の園むすびプロジェクトは、運営費がかかりすぎだと判明。新たなコミュニティでは、誰もが「自力で稼げる」、「研修を受講することで報酬のある仕事ができる」という実績をつくる。

⑪ R1.12.20 富山 YMCA が不参加

- ・協議会の進め方、エリアマネジメント勉強会について、

⑫ R2.3.19 富山 YMCA が不参加、農業団体から新規参加

- ・第 1 期総合戦略(H27～R 元年度)数値目標の達成状況について〈地方創生プロジェクト総合推進会議での検証ではない?〉
- ・R2 年度の取組みについて(エリアマネジメント、ICT アプリ)

エリアマネジメント勉強会の開催状況

◎子育て共助の環境を活性化させる新ビジネスを構築するため、住宅建設、造園、不動産の企業が参加し、勉強会の開催を企画した。

「CSV: 社会的課題の解決と企業の利益を両立させる手法」

運営支援業務委託: (株)計画情報研究所富山支店

- ① R2.8.19 勉強会の目的とスケジュール説明
- ② R2.9.2 富山大学、積水ハウスからの情報提供(先駆事例など)
個人ワーク、グループワーク
- ③ R2.9.23 モデルエリアマネジメントについて、
個人ワーク、グループワーク
- ④ R2.10.7 子育て世代が求めるコミュニティの醸成方法について
- ⑤ R2.10.21 CSV を考える(事例紹介-魚津市、和歌山県田辺市、)
- ⑥ R2.11.4 舟橋村人口ビジョンを考える
- ⑦ R2.11.11 各参加団体からの意見発表
- ⑧ R2.12.9 各参加団体からの CSV 事業計画の発表、修了式